

## XⅢ 特色ある公民館活動

### 2 子育てサロン 『おもコロコロ』

福岡市吉塚公民館 主事 山口 玲子

はじめに、『育児スペース』について説明させていただきます。

平成13年度に博多市民センターの担当者から、「乳幼児を対象に『子育て広場』をやってみませんか？」とのお話があり、公民館事業としておこなうことになりました。

吉塚校区だけではなく、市政だよりの博多区版で、募集をしましたので、定員30組のところを60組以上の応募ありました。厳選な抽選で30組を選んだのですが、抽選に漏れた方が多く、それだけ必要とされているんだなあ！と思いました。そこで、抽選に漏れた方に何かできないかなあ！との思いを博多市民センターや博多区保健福祉センターの担当者に相談しました。

そのときに、保健福祉センターから「『子育てサロン』を開設しませんか？」と言われました。内容を聞くと、校区の各種団体の協力が必要だったりいろいろな大変で、公民館独自でできるものは無いか？と考えていましたので、サロン開設はお断りしました。

そこで、ほんとうに自由に遊べる場所を提供しよう！ということで、『育児スペース』を開設することにしました。

毎週木曜日の午前10時から午後4時まで、児童等集会室を開放することにして、『子育て広場』に応募されて、吉塚校区にお住まいの方全員に案内しました。

自由といっても、最低限のルールは決めています。

- ☆ 子どもの安全は親が守る。
- ☆ 使ったおもちゃはみんなで片付ける。
- ☆ 部屋の中で飲食はしない。
- ☆ お昼ご飯は自宅でとる。
- ☆ 替えたおむつは持って帰る・・・などです。

博多保健福祉センターの地区担当保健師さんと相談して、年に3～4回支援事業をしていただくことになりました。手作りおもちゃや手作りおやつ、歯科健診で歯ブラシ指導と保健師さんの育児相談などです。

7月と8月のお天気の良い日には、公民館の駐輪場に子ども用プールを置いて水遊びをしています。天候が悪くてプールの準備をしていないと、「え～！今日は無いんですか？」とがっかりしています。「来週、お天気が良かったら準備しとくけんね！今日はお部屋で遊んで行き！」と案内しています。

小さなプールですが、水着の準備をして、みんな楽しみにしています。





それと、年に3～4回リトミックを取り入れた親子あそびでふれあいを深めています。

その中から、友達の輪が広がれば良いな！そのお手伝いがずっとできれば良いな！と思いながら見守ってきました。スペースには、その日の子どもの体調や天候しだいで日によりますが、10組から30組程度の参加があります。

幼稚園や保育園に行きだしたり、引っ越しなどで、3回ほど入れ替わりました。

子ども達の成長を見るのは楽しいもので、最初に遊びに来ていた子ども達は、小学校の4～5年生になっています。公民館のサークル活動に参加している子もいます。その後も、サロン開設の要請はありましたが、平成17年度の終り頃「公民館で、子育て支援をしてるけど『子育てサロン』を開設してみらんね？」と校区の民生委員の地区会長さんからお話があり、校区のボランティアグループ くるみの会の会長さんからも「私達も協力するよ！」と言っていただきましたので、平成18年度の初めに『子育てサロン』を開設することになりました。



スペースもサロンも目的は一緒です。

吉塚公民館では、1月を除く、毎月第1木曜日の午前10時から12時まで、2階の児童等集会室で『子育てサロン』をおこなっています。いもの子を洗うようにもまれながら、仲間と一緒に成長していくように『おいもコロコロ』と名付けました。サロンでは、子育てサポーターの見守りがあります。

次に、子育てサポーターの役割についてですが、目的を理解して協力していただけるように養成講座を開催して、子育てサポーターとは何か？サポーターの役割についてなどを学習しました。

出しゃばらず、手を出し過ぎず、あくまでもお手伝いということを忘れないで、たまには人生相談に応じたりしながら見守っていただいています。

スペースでおこなっていましたが博多区保健福祉センターの支援事業はそのまま



サロンへ移行しました。ままごとセットは購入しましたが、野菜や果物の代わりになるような物が無かったので、サポーターの方に端切れで作っていただきました。子ども達は、ままごとの鍋に入れて遊んだり大人気です。

サポーターに保育士をされていた方がいらっしゃって、その方の指導で、タオル人形を作りました。

手触りが良く、握りやすいのと、汚れたら洗えるので、これもまた人気です。

手作りおやつは管理栄養士の指導で、白玉粉に刻んだパセリや、すった人参を練り込んで団子を作りました。子ども達も手伝って？美味しいおやつができました。私もいただきましたが、パセリ独特の香りも消えて、とっても美味しかったです。

いざ！というときのために『救急法』の講習もおこない、みんな真剣に講習を受けていました。



保育士をされていたサポーターの方は、民生委員の中で子どもを担当する主任児童委員をされていて、絵本の読み聞かせや紙芝居などもお願いしています。

平成19年度には、お隣の東吉塚公民館の子育てサロン『つくしんぼサロン』と交流会をおこないました。第1回目は、東吉塚の『つくしんぼサロン』から吉塚公民館へ来ていただき、第2回目には、吉塚からお隣の東吉塚公民館へおじゃましました。どちらとも、30組以上の参加があって、会場いっぱい親子で遊びながら交流をしました。東吉塚公民館の『つくしんぼサロン』は水曜日、吉塚公民館の『お

いもコロコロ』は木曜日です。交流会の後、どちらにも参加されている方もいらっしゃるようで、参加者が増えています。

子育てサロンは月に1回ですので、サロンが終わった第1木曜日の午後1時から4時までと第2木曜日以降は、今までどおり『育児スペース』をおこなっています。

お母さんにだっこされて来ていた子がヨチヨチ歩きを始めたり、部屋に入れずに階段でお母さんと遊んでいたりと、部屋の隅でお母さんと遊んでいた子が、いつの間にか友達同士で遊んでいるのを見かけたり、帰りにタッチ！をして、振り向き、振り向きバイバイをする姿を見ていると、幸せな気持ちになります。



ときには、「家に遊びにおいでよ！」とか「お昼ご飯、一緒に食べようよ！」という声が聞こえます。

先週の『育児スペース』に雨の中5組の親子が遊びに来ていました。

12時過ぎに、玄関で帰り支度をしていたので、帰りの挨拶をしようと思って事務室から出てみると、一人のお母さんが赤ちゃんをだっこして、お兄ちゃんと三人で来ていたのですが、よく見るとよそのお母さんが、そのお兄ちゃんの帰り支度をしているところでした。

「親子関係が違うっちゃんない？」と冗談を言って、みんなで笑ってバイバイをしました。そんなふうに、手の空いているお母さんが自分の子じゃなくても面倒を見ているのを見かけます。仲間づくりができてきたんだなあ！と感じます。

また反面、仲間に入りにくくなりはしないかとの心配もありましたが、新しい方と一緒に部屋に行くと、「新しくみえた〇〇さんです。よろしくお願ひします。」と紹介すると、さっそく「子どもさん・・・何歳？ お名前は？」などと話しかける声が聞こえてきます。受け入れもOK！のようです。

これからも、できるかぎり、子ども達と関わっていきたいと思います。

以上が、吉塚公民館でおこなっています『サロン』と『スペース』です。

【問い合わせ先】 〒812-0041 福岡市博多区吉塚2丁目21-15 吉塚公民館

電話番号:092-611-6320 FAX:092-611-6326

E-Mail yoshizuka18@jcom.home.ne.jp